

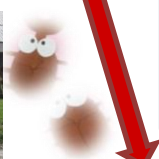
わいわいトープから学ぶ

新居浜小学校では、学校ビオトープを核に、「見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜」をテーマに、自然や環境を対象とした学習や体験的な活動を行っています。ESDの学習を通して、地域のよさや自然の大切さに気付き、様々な人となりがり、自分の考えをもち、未来へ向け行動していくことができる子どもたちを育てたいと考えています。以下、学校ビオトープ（わいわいトープ）を四つのゾーンに分け、取組の概要を紹介いたします。

水辺ゾーンでは、地下水を利用した人工の池にゲンゴロウなどのたくさんの水生動物が生育しています。五年生が理科の授業で学習し、卵から孵化させたメダカも千匹以上泳いでいます。六年生は新居浜環境会議の方をゲストティーチャーに招き、水車や太陽光を使ってクリーンエネルギーの学習を行い、限りある資源について自分の考えを深めていきます。



昆虫ゾーンでは、三年生が中心となってカブト虫を育てています。別子ゆらぎの森からゲストティーチャーを招いて育て方等を教えていただき、卵から孵化させた幼虫をカブト虫の家で育てます。大切に世話をする中で、成長の様子に気付き、生命の大切さについて考える機会となっています。



みづた あまは はな ぼけ ぶゆ

<わいわいトープ>

里山ゾーン



水辺ゾーン

田園ゾーン

昆虫ゾーン

里山ゾーンでは、一・二年生が生活科で、三年生も理科の勉強で虫採りをします。ビオトープで見つけた草花や樹木などの自然を利用して遊び、自分たちの生活がより楽しいものになるよう工夫しています。

田園ゾーンには、卒業生や保護者の方が作ってくださった田んぼがあり、五年生が、JAの方に協力をいただきながら米作りを体験しています。また、畑では毎年、二・三・四年生がいろいろな野菜づくりに挑戦しています。環境美化委員会が毎日、給食の残菜を利用して、たい肥作りを行っています。



稲から育てよう

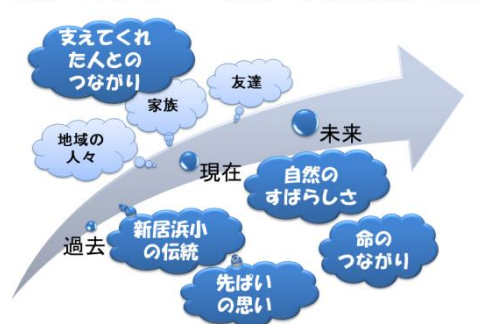


野菜を育てよう



カブト虫の家を作ろう

わいわいトープから学んだこと



ビオトープのたくさん生き物たちから学んだ自然のすばらしさ、命のつながり。持続可能な社会の担い手を育てる教育に今後も取り組んでいきたいと思えます。

